

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【公開番号】特開 2018-193208 (P2018-193208A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-99750 (P2017-99750)

【国際特許分類】

B 6 5 F 5/00 (2006.01)

B 6 5 F 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 F 5/00

B 6 5 F 1/00 W

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 21 日 (2020.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品を回収する物品回収装置であって、
物品を載置可能な載置部と、
前記載置部を覆う外扉と、
回収した物品を収容する物品収容部と、
前記物品収容部の開放に係る操作を検知する検知部と、
前記検知部により前記物品収容部の開放に係る操作を検出した場合、前記載置部の清掃を行うように報知手段による報知を行う制御部と、
を有することを特徴とする物品回収装置。

【請求項 2】

前記報知手段は、前記外扉を開放する、又は前記載置部を露出させることで前記報知を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の物品回収装置。

【請求項 3】

表示部を更に有し、
前記報知手段は、前記表示部に前記外扉を開放して清掃を行うように報知することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の物品回収装置。

【請求項 4】

前記外扉の開放状態の解除を指示する指示部を有し、
前記制御部は、前記物品収容部が開放状態の場合、前記指示部の解除指示により前記外扉を閉状態とする許可処理を行うことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項 に記載の物品回収装置。

【請求項 5】

前記検知部が検出する前記開放に係る操作とは、
前記物品収容部を当該物品回収装置から引き出す操作又は当該物品回収装置に設けられている鍵孔の開錠操作であることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項 に記載の物品回収装置。

【請求項 6】

前記外扉は、物品回収を開始する旨の操作がなされると開状態となるように制御されることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載の物品回収装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の物品回収装置は、少なくとも以下の構成を具備するものである。

物品を回収する物品回収装置であって、

物品を載置可能な載置部と、

前記載置部を覆う外扉と、

回収した物品を収容する物品収容部と、

前記物品収容部の開放に係る操作を検知する検知部と、

前記検知部により前記物品収容部の開放に係る操作を検出した場合、前記載置部の清掃を行うように報知手段による報知を行う制御部と、を有することを特徴とする。